

深化の過程



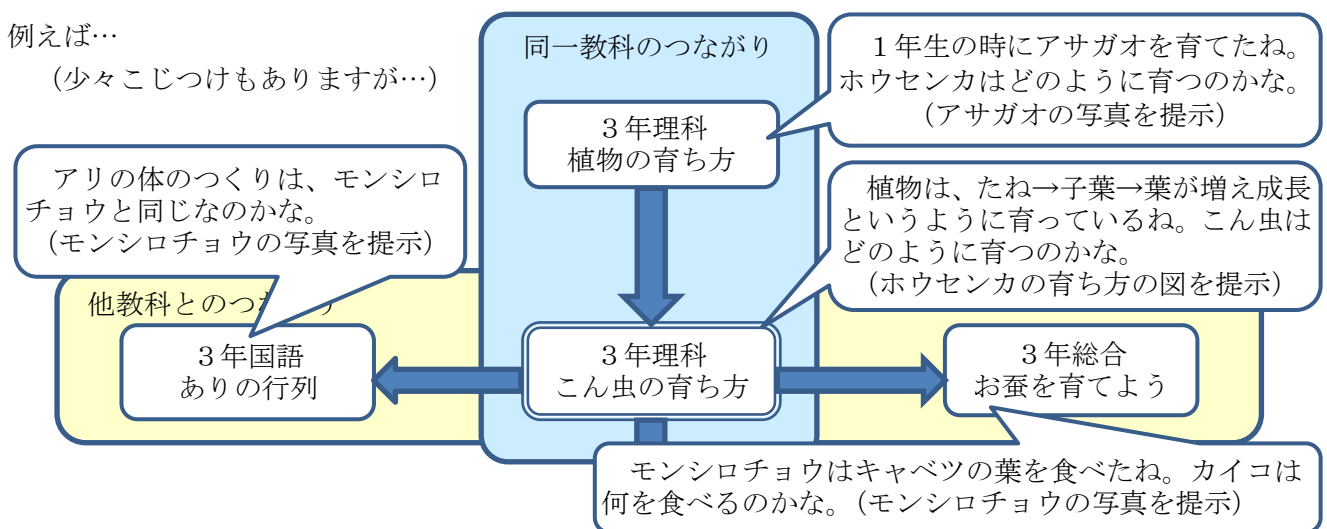
2021.05.21
No.3

②「つなぎ教材の活用」って？

藤岡に長く勤務している先生は既にご承知のことかと思いますが、「つなぎ教材」とは**既習事項と本時の学習をつなぐ教材**のことです。つなぎ教材をもとに以前に学習したことを思い出し、それをヒントに自力解決をする、というように、**児童の主体的な学習を促す手立てとしての活用**をめざします。

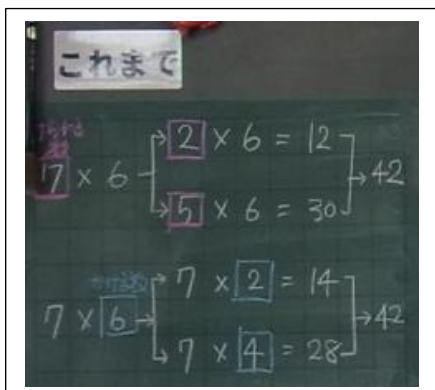
例えば…

(少々こじつけもありますが…)



「つなぎ教材」は、授業の中心部分の課題解決にかかわる場面で活用すると、児童の主体的な学習の促進に有効だと考えられます。

例えば…



めあて
かける数が10より大きいかけ算の答えは、どのようにもとめればよいか。

みかんが1ふくろに4こずつ入っています。
13ふくろでは何こになりますか。

式 $4 \times 13 \rightarrow 4 \times 10$
 4×3

導入時に提示したものを、本時の課題解決の手立てとしても活用できるようにする。

児童が主体的に学習に取り組めるよう、より有効な活用方法を考えていきましょう。

※もっとよい活用事例をお持ちの先生もいらっしゃると思いますので、授業実践記録で、ぜひ共有させてください！（文責：山崎）

